平成２８年度

事業報告書

第　２１　期

自　平成２８年　４月　１日

至　平成２９年　３月３１日

社会福祉法人 天祐会

千葉県千葉市中央区新町17番地12

目　次

社会福祉法人天祐会概要 …… 2

各事業所別事業報告
法人本部（千葉市）…… 4
大佐和苑（富津市）…… 7
鋸南苑（鋸南町）…… 11
富士見苑（富津市）…… 14
天羽苑（富津市）…… 16
みらい保育園（千葉市）…… 20
竜神苑（東庄町）…… 23
広尾苑（市川市）…… 27
広尾みらい保育園（市川市）…… 29
木更津みらい学舎（木更津市）…… 31
請西苑（木更津市）…… 33
千葉みらい響の杜学園（千葉市）…… 38

１．法人概要

法　人　名	社会福祉法人　天祐会
法人設立年月日	平成 7 年 10 月 26 日
代　表　者　名	理事長　水野　茂
法 人 所 在 地	千葉県千葉市中央区新町 17 番地 12
電話番号・FAX 番号	電話：043-202-2727　　FAX：043-202-2737
従 業 員 総 数	374 名（平成 29 年 3 月 31 日現在）

２．理　念

私たちは「ご利用者様第一主義」を理念とし、「やさしさ」「思いやり」「あたたかさ」のある支援を心がけます。

３．沿　革

平成 7 年 10 月　社会福祉法人天祐会　設立
平成 9 年 4 月　ケアハウス大佐和苑　開苑
　　大佐和苑デイサービスセンター　開苑
平成 10 年 4 月　大佐和苑在宅介護支援センター　開苑
平成 11 年 4 月　特別養護老人ホーム鋸南苑（従来型）　開苑
　　鋸南苑ショートステイ（従来併設型）　開苑
平成 12 年 4 月　大佐和苑在宅介護サービス　事業開始
　　鋸南苑デイサービスセンター　開苑
平成 14 年 2 月　大佐和苑訪問入浴　事業開始
　　9 月　グループホーム富士見苑　開苑
　　富士見苑デイサービス　開苑
平成 16 年 1 月　鋸南苑ショートステイ　増築（ユニット型 4 名）
　　2 月　特別養護老人ホーム鋸南苑　増築（ユニット型 30 名）
　　7 月　グループホーム富士見苑　増築（9 名から 18 名定員へ）
　　8 月　グループホーム富士見の家　開苑
平成 18 年 12 月　グループホーム天羽苑　開苑
　　4 月　みらい保育園　開園
平成 19 年　3 月　天羽苑デイサービス　開苑
平成 20 年　4 月　特別養護老人ホーム竜神苑　開苑
　　10 月　小規模多機能ホーム竜神苑　開苑
平成 22 年　2 月　特別養護老人ホーム広尾苑　開苑
　　4 月　広尾みらい保育園　開園
　　木更津みらい学舎　開園
平成 23 年　4 月　第２代理事長に石岡英明が就任
平成 24 年　3 月　請西苑デイサービスセンター、グループホーム請西苑　開苑
　　9 月　特別養護老人ホーム請西苑　開苑
平成 25 年　3 月　富士見の家　廃止

平成 25 年　4 月　天羽苑サービス付き高齢者向け住宅　開苑
平成 26 年　2 月　第 3 代理事長に水野茂が就任
平成 26 年　4 月　児童養護施設千葉みらい響の杜学園　開園
平成 26 年　7 月　千葉みらい響の杜学園子育て短期支援事業　開始
平成 27 年　2 月　竜神苑賃貸開始
平成 28 年 10 月　天羽苑サービス付き高齢者向け住宅　廃止

４．事業内容

○第一種社会福祉事業
　軽費老人ホーム大佐和苑の設置運営
　特別養護老人ホーム鋸南苑の設置運営
　特別養護老人ホーム竜神苑の設置運営
　特別養護老人ホーム広尾苑の設置運営
　特別養護老人ホーム請西苑の設置運営
　児童養護施設千葉みらい響の杜学園の設置運営
○第二種社会福祉事業
　老人デイサービス事業（大佐和苑）
　老人短期入所事業（鋸南苑）
　老人介護支援センター事業（大佐和苑）
　老人デイサービス事業（鋸南苑）
　老人居宅介護等事業（大佐和苑）
　認知症対応型老人共同生活援助事業（富士見苑）
　認知症対応型老人共同生活援助事業（天羽苑）
　老人デイサービス事業（天羽苑）
　保育所みらい保育園の設置運営
　老人短期入所事業（広尾苑）
　保育所広尾みらい保育園の設置運営
　地域子育て支援拠点事業（広尾みらい保育園）
　放課後児童健全育成事業（木更津みらい学舎）
　認知症対応型老人共同生活援助事業（請西苑）
　認知症対応型老人デイサービス事業（請西苑）
　子育て短期支援事業（千葉みらい響の杜学園）
　幼保連携型認定こども園（認定こども園木更津みらい）
　放課後児童健全育成事業（木更津みらい会館）
　児童自立生活援助事業（未来の杜）
○公益を目的とする事業
　居宅介護支援事業（大佐和苑）
○収益を目的とする事業
　建物賃貸業の経営（竜神苑）

〔法人本部〕（千葉市）

■　事業報告概要　■

法人の業務管理体制を強化するため、人事･処遇等の諸規程の見直しを前年度に引き続き行った。人材採用が困難な現状を打破するため、平成 27 年度より開始したフィリピン人の介護職員としての採用、信越・東北地方への保育士養成校回りも継続した。

新規事業については、木更津市に、幼保連携型認定こども園「認定こども園木更津みらい」、放課後児童健全育成事業「木更津みらい会館」、さらに、千葉市では、自立援助ホーム「未来の杜」の設置をし、平成 29 年度からの開園を迎えることとなった。

1. 実施状況

(1)行政提案

・地域小規模児童養護施設ひまわりの家を千葉市に提案（平成 27 年度より継続）

(2)法人研修会の企画・運営

・施設長研修は毎月の施設長会議に加えて、高齢者、児童の各部会で実施

・高齢者福祉系では、職種別研修会に加えて、個別ケア研究、日本語研修を実施

・児童福祉系では、チーム保育や造形教育など公開研修形式で実施

(3)理事会及び評議員会開催状況

日　時	議会名	定足数 (理　事) (評議員) (監　事)	議　題
5 月 14 日	第一回 定例役員会	10／10 14／21 2／2	①　平成 27 年度 事業報告 ②　平成 27 年度 決算報告 ③　平成 27 年度 理事長専決事項報告 ④　平成 28 年度 第一次補正予算案 ⑤　施設長人事 ⑥　定款変更 ⑦　諸規程変更 ⑧　運営管理規程変更 ⑨　認定こども園 園長検討　　他
7 月 9 日	第二回 定例役員会	10／10 17／21 2／2	①　諸規程変更経理規程変更案 ②　認定こども園 設計監理入札結果及び契約 ③　認定こども園 (独)福祉医療機構借入　　他
9 月 10 日	第三回 定例役員会	10／10 15／21 2／2	①　会計監査人候補者選定 ②　平成 28 年度 第二次補正予算案 ③　天羽苑サービス付き高齢者向け住宅 事業廃止

			④　定款変更(事業目的廃止) ⑤　諸規程変更　　他
11 月 12 日	第四回 定例役員会	10／10 20／21 2／2	①　グループホーム天羽苑 管理者交代 ②　自立援助ホーム未来の杜 新規事業計画 ③　平成 28 年度 第三次補正予算案 ④　諸規程変更･新設 ⑤　運営規程変更･新設 ⑥　定款変更 ⑦　認定こども園 副園長選任 ⑧　認定こども園 物品入札業者の選定 ⑨　評議員選任解任委員会運営細則 新設 ⑩　評議員選任解任委員 選任 ⑪　新評議員候補者　　他
3 月 11 日	第五回 定例役員会	10／10 18／21 2／2	①　平成 28 年度第四次補正予算案 ②　平成 29 年度事業計画案 ③　平成 29 年度当初予算案 ④　施設長人事 ⑤　定款変更 ⑥　諸規程変更 ⑦　継続契約（自動更新） ⑧　運営規程変更 ⑨　役員選任 ⑩　役員報酬　　他

(4)施設長人事

役職名	氏名	在職期間
広尾苑	藤崎　さとみ	平成 28 年 6 月 1 日　～　現在
天羽苑	土谷　玲子	平成 29 年 1 月 1 日　～　現在

(5)法人内会議の実施状況

実施年月日	主　た　る　議　題
4 月 19 日	①　役員会報告資料作成 ②　諸規程変更案　　他
5 月 17 日	①　平成 27 年度 指導監査(予定)　　他
6 月 21 日	①　平成 28 年度第二次補正予算　　他
7 月 19 日	①　平成 28 年度第二次補正予算の再確認　　他
8 月 16 日	①　平成 28 年度第二次補正予算の進捗確認　　他
9 月 20 日	台風により中止
10 月 18 日	①　平成 28 年度下期スケジュール

	1. 平成 28 年度下期人事考課及び賞与支給の流れ 2. 平成 28 年年末調整 3. 平成 28 年度第四次補正予算及び平成 29 年度当初予算 4. 平成 29 年度事業計画　　他
11 月 15 日	①「育児・介護休業等に関する規程」改定 ②「ストレスチェック制度実施規程」新設　　他
12 月 20 日	① 平成 28 年度第四次補正予算及び平成 29 年度当初予算 ② 平成 29 年度事業計画　　他
1 月 17 日	① 新年度スケジュール案 ② 平成 29 年度採用新卒者辞令交付式　　他
2 月 23 日	① 諸規程変更案　　他
3 月 21 日	① 役員会報告資料作成 ② 経理規程変更 ③ 諸規程変更 ④ 組織変更

■　事業報告概要　■

＜ケアハウス＞

平成 28 年度は、入居者の生活の質の向上を目指し、健康にして平穏に、出来る限り自立した生活が出来るよう、必要に応じて介護保険サービスを活用しつつ、体調面でも、早期発見対応に努め、稼働の定着を図ったが、新規 8 名・退居 9 名と満床到達までには至らなかった。設備面では、食器や電話設備の入替を行い、安全かつ快適な生活が出来るよう環境設備改善に努めた。

現在、年齢 75 歳以上の方が、入居者数 45 名に対し 35 名いらっしゃる為、身体機能の低下・認知症状の出現等で加齢には逆らえない状況となっている。今後は、更なる行事やリハビリにより、心身機能の維持や生きがい、健康づくりや脳トレーニングの活用等で認知症予防や進行の抑制、医療との連携を密にし、対応していく必要性がある。

＜デイサービスセンター＞

今年度は、医療と福祉の連携・情報の共有を目標に掲げ、軽度者から重度者まで、受け入れることが出来た。それぞれに対応したサービスの提供も出来たが、利用者数の増加は目標数までには至らなかった。フロアーの改革、レクリエーションの充実にも力を入れ、職員研修にも力を入れ介護力も強化できたが、稼働率は思ったように上昇出来なかった。

＜ケアハウス＞

1．実施状況

①サービス内容

〇生活指導

・趣味活動の充実。

・充実した生活を送っていただく為の各種行事計画を実施した。

〇栄養

・苑の菜園で収穫した新鮮な野菜を食卓に提供した。

・地元の協力を得て、地場の魚・野菜を積極的に取り入れた。

・選択メニュー・行事食等の工夫。

〇健康管理

・体重測定・血圧測定を実施し苑でも健康チェックを行い、医師による定期的な健康診断や提携病院との連絡を密にし、健康管理を十分に行った。

〇地域交流

・ボランティアを積極的に受け入れ、納涼祭行事を通し、地域の方々との交流を深めた。

・近隣の保育園・小中学校との交流を促進し、地域の子供たちとのふれあいの機会を持てるよう計画を行った。

②年間行事

月	内容	月	内容
4 月	設立 20 周年記念会 お花見バスハイク	10 月	日月神社祭礼見物、柿もぎ・焼き芋会
5 月	端午の節句・菖蒲湯 買い物ツアー	11 月	佐貫小学校音楽集会・干し柿作り 紅葉狩りバスハイク
6 月	ドイツ村バスハイク・青空食事会	12 月	クリスマス会
7 月	七夕祭り	1 月	初詣
8 月	納涼祭	2 月	節分
9 月	佐貫小学校運動会・敬老会	3 月	ひな祭り

2. 施設管理

①施設内職員研修・会議等

月	内容	月	内容
4 月	定例職員会議 基本理念	10 月	定例職員会議 防災訓練
5 月	定例職員会議 認知症対応	11 月	定例職員会議 プライバシー保護
6 月	定例職員会議 防災訓練	12 月	定例職員会議 介護技術
7 月	定例職員会議 食中毒対応	1 月	定例職員会議 インフルエンザの予防・対応
8 月	定例職員会議 緊急時対応	2 月	定例職員会議 虐待防止対応
9 月	定例職員会議 感染症対策	3 月	定例職員会議 防災訓練

②防災計画

防火管理者を中心に防災計画を策定し、入居者の安全確保に努めるとともに、法令及び県の基準に基づき救急事態に備えて、以下の通り訓練を入居者・職員が合同で実施した。

・自主訓練　　6 月 30 日・2 月 23 日

・消防署立ち会い　3 月 24 日

＜大佐和苑デイサービスセンター＞

1. 実施状況

①サービスの内容

○居宅サービス計画を基本としたサービス提供

・入浴サービス

・健康チェック
・給食サービス
・レクリエーション活動
・機能訓練指導
・送迎サービス
〇利用者の意向を尊重したサービス提供
・希望利用時間への対応
・介護事故防止のための検討と対応
〇通所介護計画の作成

②年間行事

月	内容	月	内容
4 月	お花見ドライブ	10 月	ミニ運動会
5 月	菖蒲湯・鯉のぼり見学	11 月	紅葉ロードドライブ
6 月	紫陽花見ドライブ	12 月	クリスマス会、ゆず湯
7 月	七夕会・クッキング	1 月	初詣ドライブ
8 月	ミニ納涼祭	2 月	節分会
9 月	敬老会	3 月	ひな祭り、花見ドライブ

＊その他、毎月お誕生日のお祝いを実施。

③地域交流
8 月　納涼祭　　12 月　保育所との交流会

2. 施設管理

①防災訓練(年 3 回実施、うち 1 回消防署立ち会い)
ケアハウスに準じる

②職員状況
・管理者 1 名（兼務）　・生活相談員 2 名
・介護員 5 名（常勤 1 名、非常勤 4 名）　・看護職員 3 名（常勤 1 名、非常勤 2 名）

＜大佐和苑在宅介護支援センター＞

1. 実施状況

①処遇実績
〇居宅介護支援事業者
・ケアプランの作成
〇要介護認定訪問調査（各市町村委託）

・認定訪問調査の実施

2. 施設管理

①職員状況

・管理者１名（兼務）

・介護支援専門員　３名（専任１名兼務２名）

＜大佐和苑在宅介護サービス＞

1. 実施状況

①処遇実績

○居宅サービス計画（ケアプラン）を基本としたサービス提供。

・身体の介護に関すること。

・生活の介護に関すること。

○利用者の意向を尊重したサービス提供。

・希望時間への対応。

・介護保険法に基づく適切なサービス内容の提供。

○通所介護等、他の介護保険サービス事業との連携。

○かかりつけ医等、医療事業者との連携。

○訪問介護計画の作成。

2. 施設管理

①職員状況

・管理者　　１名（兼務）

・提供責任者　　１名

・訪問介護員　　３名（兼務）

〔鋸南苑〕（鋸南町）

■　事業報告概要　■

＜特別養護老人ホーム＞

平成 28 年度の施設稼動状況については、本館満床、別館においては 93～96％と安定した稼働率を維持してきたが、2 月以降、協力病院内のインフルエンザ感染による退院制限、鋸南苑職員や家族のインフルエンザ感染など影響し、目標達成には至らなかった。

昨年に引き続き、鋸南町雇用創造協議会が主催する「介護職員初任者研修」の実技演習会場の提供や、文化祭、ボランティアの集い等への観覧、車椅子ダンス等の慰問を通して地域との交流を図った。

職員体制については、介護・看護師の人員不足ではあるものの、各部門の補完・連携を図りながら対応したが、外国人職員の育成にあたっては、有志職員の協力を得て、日本語教育の向上に取り組んできた。引き続き、専門知識の習得に向け努力して行く必要がある。

＜ショートステイ＞

今年度は、デイ利用者からの新規利用者や特養多床室を入居待ちの方に対しては、本館個室の長期利用で対応するなど、収入面での工夫、地域からの緊急要請の受入れなどを行い、利用者稼働率の向上に努めた。しかしながら、年末からは利用者様の体調不良が重なるなど、利用キャンセルの状況が続いてしまった。

＜デイサービス＞

平成 28 年度はレクリエーションやボランティア参加、特養入居者との交流により地域とのコミュニケーションに力を入れた。しかし、新規利用者増があったものの、結果として、ショート利用や施設入居、入退院等により大幅な減少となった。新規利用者の安定的獲得に向け、特色を生かした運営が課題となっている。

1．実施状況

＜特別養護老人ホーム、短期入所生活介護＞

①サービス内容

・日常生活支援
・食事
・入浴サービス
・利用者やご家族の相談や苦情解決対応、援助業務
・介護計画の作成
・身体機能訓練
・健康管理
・余暇支援
・買い物支援、その他

②年間行事

月	内容	月	内容
4 月	桜のお花見ドライブ（佐久間ダム）	10 月	秋の運動会（フロアーにて）
5 月	鯉のぼり見学ドライブ（佐久間ダム）	11 月	ボランテイアの集い（鋸南町公民館） コスモスドライブ（富楽里）
6 月	あじさいドライブ（鋸山）	12 月	紅葉ドライブ（志駒）、X マス会
7 月	手持ち花火大会（玄関前）	1 月	初詣（勝山神社）
8 月	富楽里で岩井の花火大会見学	2 月	節分、豆まき大会
9 月	保田祭礼	3 月	ひな祭り・写真撮影

2. 施設管理

①職員研修･会議等

月	内容	月	内容
4 月	事例から学ぶ高齢者虐待防止対策	10 月	不適切なケアの改善について グループホーム個別ケア研修
5 月	ストレスチェック制度について	11 月	介護現場における精神障害者への接し方研修、館内の環境改善対策について
6 月	熱中症研修研修 不適切なケアの見直し研修	12 月	感染症研修
7 月	災害時の対策研修	1 月	インフルエンザ・ノロ対策について
8 月	熱中症と腰痛予防研修	2 月	褥瘡予防について
9 月	落薬・誤薬対策について	3 月	クレーム対応研修 インフルエンザ感染症対策について

②消防訓練（年 3 回実施）

8 月 28 日　防火訓練（初期消火･避難訓練）

1 2 月 25 日　防火訓練（初期消火･避難訓練）※消防署立会い

3 月 19 日　防火訓練（初期消火･避難訓練）※夜間想定

③職員配置

・施設長1名　・副施設長1名　・介護支援専門員1名　・生活相談員1名

・事務主任1名　・事務員1名　・用務員3名

・看護師 4 名（パート含む）　・機能訓練指導員 2 名（兼務）　・介護員 39 名（パート含む）

・管理栄養士1名　・栄養士1名　・調理員7名（パート含む）

＜鋸南苑デイサービスセンター＞

1. 実施状況

①サービス内容

・入浴サービス
・健康チェック
・給食サービス
・レクリレーション活動
・機能訓練指導
・送迎サービス
・通所介護計画の作成

②年間行事

月	内容	月	内容
4 月	桜花見ドライブ（佐久間ダム）おやつ作り	10 月	秋の第運動会、芋掘り、コスモスドライブ（富楽里）
5 月	紫陽花花つくり・おやつ作り・夏野菜の苗植え、演芸会	11 月	焼き芋大会、紅葉ドライブ、クリスマス飾り作り、貼り絵
6 月	じゃが芋の主格・ヘチマの植替え、スイカの植替え、紫陽花ドライブ（鋸山）おやつ作り、七夕飾り作り	12 月	紅葉ドライブ、クリスマス作り、昼食作り、保育園児来苑クリスマス会
7 月	保育園児ボランティア来苑、おやつ作り、夏野菜の収穫、うちわ作り、七夕作り	1 月	鋸南苑神社初詣、どんど焼き、節分準備、貼り絵
8 月	夏祭り、すいか割り、貼り絵	2 月	節分、豆まき、雛人形飾り付け、種まき、おやつ作り（カップ寿司）
9 月	敬老の日のお祝い、貼り絵、大根の苗植え・おやつ作り（おはぎ）	3 月	演芸会、おやつ作り（ぼた餅）、桜作り、桜のお花見ドライブ

2. 施設管理

①消防訓練（年 3 回実施）

8 月 28 日　防火訓練（初期消火･避難訓練）
１2 月 25 日　防火訓練（初期消火･避難訓練）※消防署立会い
3 月 19 日　防火訓練（初期消火･避難訓練）

②職員配置

・センター長兼相談員 1 名　・相談員 1 名　・看護師 1 名　・介護員 3 名（パート含む）

〔富士見苑〕（富津市）

■　事業報告概要　■

平成 28 年度利用状況は、4 月時点で 18 名定員のうち、13 名のご利用者が入居されておりました。その後、3 名の方が退所（死亡による）されましたが、病院、同法人施設、居宅から計 4 名の方が入所され 3 月末でなんとか、14 名の利用まで回復いたしました。

また、運営推進会議年 6 回の開催と敬老会等の地域行事への参加により、自治体や地域住民との関係強化を図る事ができました。

利用者支援に関しては、アセスメント・モニタリングをきめ細かく行い、ご利用者の現在の身体・精神状況にあった支援を行えるようにし、また、外出・施設内行事の実施回数を増加させ、変化のある楽しい生活が送れる様に致しました。

＜グループホーム＞

1．実施状況

①基本理念

○利用者が安心して「普通の暮らし」を送れる家庭的な生活環境を提供する。
○共同生活を通じて利用者の残存機能の維持・向上が出来る様にする。
○職員は「知識・技術・心」の向上を図り、利用者の暮らしを守り支援をする。
○家族との信頼関係の強化と維持に努める。
○医療及び行政との連携を強化する。
○地域密着型施設として地域福祉の向上に努める。
○情報開示に努め、開かれた施設運営を行う。

②事業内容

○相談・援助業務
○食事サービス
○入浴サービス
○排泄介助、整容その他日常生活の世話
○介護計画の作成
○機能低下予防訓練
○健康管理
○余暇支援、通院介助、買い物介助、その他支援
○利用者に対して計画的にアクティビティを実施
○口腔ケア

③年間行事

月	内容	月	内容
4 月	花見・ドライブ	10 月	買い物　公園散策
5 月	外食会・ドライブ　苑内行事	11 月	紅葉見学　　座談会
6 月	外食会　バーベキュー	12 月	外食会・ドライブ
7 月	ドライブ　施設内行事	1 月	外食・初詣
8 月	外食会　　夏祭り	2 月	買い物・ドライブ　節分
9 月	外食会　秋祭り　敬老会	3 月	イチゴ狩り

2. 施設管理状況

①施設内職員研修・会議等

月	内容	月	内容
4 月	人権について・職員会議	10 月	バリデーション・職員会議　避難訓練
5 月	高齢者の健康チェック・職員会議 推進会議	11 月	音楽療法について・職員会議 推進会議
6 月	食中毒・職員会議	12 月	認知症ケアの法則・職員会議
7 月	熱中症について・職員会議　推進会議	1 月	バイスティックの 7 原則・職員会議 推進会議
8 月	状態観察と緊急時対応・職員会議	2 月	ケース記録の目的・職員会議
9 月	ユニットケア・職員会議　推進会議	3 月	事例検討・職員会議　推進会議 避難訓練

②防災訓練

防火訓練（消火・通報・避難）年 2 回

夜間想定訓練、役割分担に応じ実施

防火設備取り扱い訓練

災害に想定・緊急対応訓練

③職員配置

統括管理者兼計画作成 1 名

介護員兼計画作成 1 名

介護職員 9 名　（非常勤 3 名）

④施設整備

駐車場　側溝整備

〔天羽苑〕（富津市）

■　事業報告概要　■

＜グループホーム＞

昨年同様、職員の定着化を目指してきましたが、数ヶ月で退職になる方が多く、安定しない1年でした。10月より新入居者が加わり満床になりましたが今年1月に1名の方が退居となり、現在も空き部屋が1つとなっています。

＜デイサービス＞

今年度より地域密着型通所介護へ移行したが、総利用人数は1,304名で前年度より142名減少。年間を通じて5名の新規利用があったが、高齢でなくなる、利用を中止される方が同数で週の利用回数も減り人数の割には総人数には反映されない結果となってしまった。近隣に同業種も出来てはいるが『小さい施設で目が行き届く介護』を望まれる方が増えていることをサービスにいかしていきたい。

＜サービス付き高齢者向け住宅＞

平成28年度当初より4名定員の所でお一人での生活が続きずっと寂しいと話されていてご本人も退去を望まれていた為、苑長より富士見苑への入所をおすすめし、快く転居される。その為9月末を持ってサービス付き高齢者向け住宅は休止となる。

＜グループホーム＞

1．実施状況

①サービス内容

・日常生活支援
・食事・入浴サービス
・利用者や家族の相談や苦情解決対応、援助業務
・介護計画の作成
・身体機能訓練、健康管理
・余暇支援、買い物支援、その他
・地域運営会議の実施

②年間行事

月	内容	月	内容
4月	お花見	10月	ミニ運動会
5月	アイリス見学、天神山小運動会参加	11月	天神山地区祭礼
6月	出前の日、ボランティア来苑	12月	クリスマス会
7月	七夕会	1月	初詣、誕生会
8月	そうめん流し,誕生会	2月	節分行事、天神山小学校交流会
9月	敬老会、湊幼稚園との交流会	3月	ひな祭り会、ボランティア来苑

2. 施設管理

①職員研修

月	内容	月	内容
4 月	介護保険制度	10 月	緊急時の対応（救急）、防災訓練
5 月	AED の使い方	11 月	緊急時の対応（災害）
6 月	食中毒の予防・対策	12 月	高齢者の疾病
7 月	熱中症の予防・対策	1 月	インフルエンザの予防・対策
8 月	虐待防止について	2 月	ノロウイルスの予防・対策
9 月	認知症について	3 月	身体拘束について、防災訓練

②消防訓練（年 2 回）

防災訓練（消火、通報、避難）、夜間想定訓練、防災設備関係の取り扱い方、地震・災害対策

③職員配置

管理者 1 名（兼務）

計画作成担当者 1 名（常勤介護支援専門員・介護職員兼務）

介護職員 4 名（常勤 3 名、非常勤 1 名）　調理員 2 名（非常勤）

④苦情解決体制

事業所における苦情等については、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員 2 名を置き、ご利用者、ご家族様からの苦情に対応致します。

＜デイサービス＞

1. 実施状況

①サービス内容

・送迎・健康チェック
・入浴サービス・食事の提供
・レクリエーションや外出行事の提案
・個々のケアプランにそった通所介護計画書の作成
・新規利用者様の相談業務や苦情解決相談等
・地域推進運営会議の実施（年 2 回）

②行事

月	内容	月	内容
4 月	お花見（小糸川・郡ダム方面）	10 月	運動会
5 月	藤棚見学（アカデミアパーク方面）	11 月	紅葉見学（君津・片倉ダム方面）
6 月	ハワイアンの集い（ボランティア来苑）	12 月	クリスマス会、ボランティア来苑

7月	七夕会	1月	初詣、水仙見学（佐久間ダム方面）
8月	そうめん流し　誕生会	2月	節分行事、河津桜見学
9月	敬老会、湊幼稚園との交流会	3月	ひな祭り会、ボランティア来苑

※誕生会は誕生月のみ実施

2. 施設管理

①職員研修

月	内容	月	内容
4月	介護保険制度（地域密着型通所介護①）	10月	介護保険制度（地域密着型通所介護③）
5月	AEDの使い方（地域密着型通所介護②）	11月	事故防止（介護現場のヒヤリハット）
6月	食中毒の予防・対策	12月	インフルエンザについて
7月	熱中症の予防・対策	1月	緊急時の対応について・心不全について
8月	高齢者の疾病について（C型肝炎）	2月	ノロウイルスの予防
9月	身体拘束について 集団指導内容について	3月	高齢者の虐待予防について

※職員会議は毎月実施

（新規利用者様に持病等がある場合は職員会議時に症状と対応についての確認）

②消防訓練（グループホームと併せて実施）

・防災訓練（消火・通報・避難）消防署立会いのもと10月に実施

・防災設備等の取り扱い方等再度マニュアルを作成し緊急時にもわかりやすいように掲示

・夜間想定訓練については3月にGHのみ実施（日曜日の為デイは不参加）→次回は平日で検討

・地震、災害対策として現在休止している『サ高住』の中に緊急時の防災用品や食料品等の備蓄を行い災害に備える準備を今年度初めて行う。

③職員配置

管理者1名（相談員と兼務）

看護職員1名（機能訓練指導員と兼務）

介護職員3名（非常勤）

④苦情解決体制

事業所における苦情等については、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員2名を置き、ご利用者、ご家族様からの苦情に対応致します。

3. その他

・平成29年3月24日富津市役所の指導監査の実施（4月より地域密着型通所介護に移行となった

為）→結果については『概ね適正に運営されている』との報告を受ける。

＜サービス付き高齢者向け住宅＞

1．実施状況

①サービス内容

・食事の提供
・健康管理
・安否確認（夜間は緊急通報システムにて対応）
・生活相談サービス

②年間行事

月	内容
5 月	出前の日
6 月	七夕会

〔みらい保育園〕（千葉市）

■　事業報告概要　■

平成 28 年度は 10 年目ということで「ありがとう」をテーマに、遊びや生活の環境を整え、一人ひとりの思いをくみとった上で共感していくという丁寧な保育を職員全員で心がけた。

子どもたちの育ちを考え、様々な研修等で学び、職員一人ひとりがそれぞれの得意なことを活かした保育の質の向上を目指した。

地域の様々なイベント等に参加し、子ども、保護者、地域、職員と共に育つ「共育」を実践することができた。

1．実施状況

①保育事業

A　通常保育事業（月～土　7 時～20 時実施）定員 120 名（144 名）
B　特定保育事業（月～土　8 時～18 時実施　就労している市民を対象とする）
C　一時保育（月～土　8 時～17 時実施　土曜日は午前のみ）
D　休日保育事業（日曜日・祝日　7 時～18 時実施）
E　地域交流（海浜小・見浜園・年頭視閲・老人ホーム・養護施設・マレーシア）

②厨房部門

A　食育活動（和食の献立の充実）
B　衛生管理の徹底（職員の健康管理）
C　アレルギー対応の徹底（誤食のおこらない環境）
　＊アレルギー対応マニュアルを基に声がけと事務所のチェックの徹底～複数確認

③看護部門

A　平成 25 年度より保護者への「ほけんだより」配布と視力検査を始める。

④防災部門　毎月訓練を行う中で必要なものを話し合い、防災用品（食糧・水・靴・おんぶ紐等）ホールの裏に避難用の倉庫を設けた。

⑤年間行事

月	内容	月	内容
4 月	はじめましての会　誕生会（毎月）	10 月	運動会　芋煮会　バス遠足 ハロウィン
5 月	端午の節句　試食懇談会 神田外語交流 カレーパーティ	11 月	試食懇談会　美浜園灯籠 小学校との交流　保育現場研修造形
6 月	陶芸　マリンズダンス交流	12 月	造園花植え活動　クリスマス会 テキサス州大学交流
7 月	夕涼み会　美浜園七夕灯籠	1 月	もちつき会

	お泊り保育		年頭視閲
8 月	花火大会：響の杜交流 交通安全教室	2 月	節分　卒園遠足 マラソン大会
9 月	お月見 チーバ君との交流	3 月	ひな祭り 卒園式

2. 施設運営管理

①会議等

月	内容	月	内容
4 月	定例会議（未満児・以上児・係）	10 月	定例会議（未満児・以上児・係）
5 月	定例会議(未満児・以上児・係)	11 月	定例会議(未満児・以上児・係)
6 月	定例会議(未満児・以上児・係)	12 月	定例会議(未満児・以上児・係)
7 月	定例会議(未満児・以上児・係)	1 月	定例会議(未満児・以上児・係)
8 月	定例会議(未満児・以上児・係)	2 月	定例会議(未満児・以上児・係)
9 月	定例会議(未満児・以上児・係)	3 月	定例会議(未満児・以上児・係)

②研修等

月	研修受講内容
5 月	・2 歳児の保育と発達　　保育セミナー ・乳幼児期に大切にしたいこと
6 月	・衛生講習会 ・乳児保育担当者研修会 ・子ども主体の保育を展開するための環境について ・0 歳児の発達と保育 ・じょうずに食べる・食べさせる ・すてきなダンスで運動会 ・公開研究発表会 ・給食施設衛生管理講習会 ・1 歳児の発達と保育
7 月	・アレルギー対応について ・外遊びと体育指導 ・食と健康を考えるシンポジウム ・離乳食作りの向上を図る ・食物アレルギーの対応

8 月	・2016 幼児保育音楽研修会 ・甲種防火管理者講習 ・つながりあそび・うたサマーカレッジ実技研修会 ・おもちゃインストラクター口座
9 月	・保育と連動した食育について ・子ども主体の保育を展開するための環境について
10 月	・日々の保育を深めるために（音楽遊び） ・保育と連動した食育について ・子どもの心に寄り添うとは ・現場研修「みんなが笑顔になる食育時間を目指して」
11 月	・保育者の質の向上につながる主任保育士の役割 ・日々の保育を深めるために（体育指導） ・ぜん息と食物アレルギーの対応 ・視察研修「南アルプス子どもの村小学校」 ・主体的に遊び、生活する力を育む環境と援助
12 月	・乳幼児期の予防接種と感染症について ・現場研修 ・地域で連携して食育を推進しよう ・子ども主体の保育を展開するための環境について ・日々の保育を深めるために ・エピソード記述研修
1 月	・保育所における家庭支援 ・とびっきり遊びセミナー ・「食事調査」「献立検討」 ・離乳食について ・保育と連動した知識と技術を身につける
2 月	・保育士の専門性を高める研修会 ・エピソード記述研修
3 月	・嘱託医と保育所・保育園共同学習会

③職員配置

園長 1 名　主任保育士 1 名　保育士 37 名（パート職員を含む）　保育補助 2 名　看護師 1 名
栄養士 2 名　　調理員 4 名（パート職員を含む）　用務員 1 名

〔竜神苑〕（東庄町）

■　事業報告概要　■

平成 28 年も満床維持を目標に空床期間の短縮を実践した。年間 5 名の退去に対し入居者 4 名を迎え空床 1 名を調整済みとしつつ期末 28 名で締めくくった。3 月末における平均要介護度は 4.1 平均年齢 88.8 歳と上昇傾向にある。今年度はインフルエンザ感染が例年にない拡がりを見せ、迅速な対策をとる中での感染拡大に職員の負担も増大し集団的居住空間における感染予防の弱点が浮き彫りとなった。職員にも感染が及んだが重篤化する入居者はなく終息した。周囲の取り組みを参考に予防衛生を習慣化するなど今後に備える必要性を痛感した。今年度は、かねてよりの計画であった特浴を導入し労働環境の改善や入居者のより安全・安心な入浴支援の為の浴室環境を整えた。また高単位の加算の実施と 3 月より開始の新たな加算にもより運営基盤の安定と充実を図ることが出来た。一方人員体制においては栄養士の補充が難航し調理部門の人員確保が喫緊の課題となるなど次年度へ多くの検討事項を残す一年となった。

＜特別養護老人ホーム＞

1．実施状況

①サービス内容

○地域密着型施設サービスの策定

個別性を重視し自律的な生活を意識した計画の策定を心がけた。

○利用者や家族の相談や苦情対応及び援助業務

家族も当事者として本人を中心に共に支えあうことができるような支援を行った。

○食事サービス

ユニットでの炊飯を実践し本人の食べたい量を伺いながら盛り付けを行いより家庭的な雰囲気を感じられるよう努めた。低栄養リスクの高い入居者には高カロリー食の提供や機能に応じソフト食などの提供を各職間で協議し栄養状態の改善に努めた。

○入浴サービス

特浴を導入し個々の機能に応じて選択できる安全でゆとりのある入浴支援を行った。ゆず湯や菖蒲湯など季節感のある入浴を楽しんだ。

○排泄介助

羞恥心に配慮し排泄感覚の後退防止を念頭に、機能に応じた排泄支援を行った。

○日常生活の支援

個々の起床から始まる一日24時間の暮らしの流れに応じた支援を心がけた。

○機能訓練

本人の意向を優先しそれぞれの役割を持ち自主的な活動が出来るよう心掛けた。

口腔機能の評価を定期的に行いより安全な食生活が送れるよう取り組んだ。

○健康管理

看護職員を増員し入居者の体調変化に適時適切な対応が出来る体制を整えた。

地域包括ケアシステムにおける施設の役割を意識し各機関との関係構築に努め医療連携シートの活用で効果的な診療が受けられるよう協力体制をとった。

○社会生活上の支援

個々の希望による趣味活動や地域行事への参加、これまでの生活歴を反映した習慣が継続できるよう取り組み、また折々の祝いや選挙などの社会参加を家族と共に支援した。

○地域福祉事業への協力

介護予防事業（すこやかクラブ）開催協力　障害者雇用にかかわる職場体験等の受入れ等の検討を行った。

○運営推進会議の開催

年間４回開催（6 月、9 月、12 月、3 月）

②年間行事

月	内容	月	内容
4 月	桜花見ドライブ	10 月	竜神苑　運動会 茶巾絞り作り
5 月	雲井岬つつじ見学 菖蒲湯　もんじゃ焼き会 花園真秀会　　日本舞踊	11 月	第２回文化祭 作品紹介　職員民謡踊り
6 月	あやめ見学 ふくろうの会　　民謡手踊り	12 月	クリスマス会　餅つき会 鳴和会　　下座手踊り
7 月	七夕の会　そうめん作り 華舞然蓮　よさこい踊り（第１回）	1 月	新年祝賀会 三絃会　　民謡・津軽三味線
8 月	出羽の海部屋力士との交流会 華舞然蓮　よさこい踊り（第２回） 竜神苑納涼祭	2 月	節分祭　豆まき
9 月	敬老会　三絃会　　民謡・津軽三味線 おはぎ作り	3 月	ひな祭り

・カラオケクラブ　書道クラブ随時開催

2. 施設運営管理

①施設内職員研修・会議等

月	内容	月	内容
4 月	法人研修 ユニットケア竜神苑の取り組み	10 月	感染予防について
5 月	認知症ケア研修	11 月	ユニット研修　菜の花の取り組み
6 月	医務研修　　白癬・蜂窩織炎について	12 月	パーソンセンタードケア研修報告
7 月	褥瘡予防委員会研修　　嚥下について	1 月	接遇について
8 月	ユニット研修　梅ユニットの取り組み	2 月	留置カテーテルの管理について

9 月	施設防犯対策について	3 月	ユニットケア　起床の援助について

②外部研修

月	研修受講内容
4 月	医療行為・軟膏とクリームについて　（外部講師を招いて・千葉薬品講師） 施設見学　　松籟の丘
5 月	法人研修　請西苑 認知症ケア研修
8 月	施設での看取り介護（外部講師を招いて・千葉薬品講師） 防犯講和　（香取警察　生活安全課）
9 月	感染症の考え方と勧めかた
10 月	北総近隣地域感染症講習会 パーソンセンタードケア研修 ポジショニングについて（外部講師を招いて・シルバートップ講師）
11 月	認知症サポーター養成講座 高齢者虐待防止対策研修 施設見学　　千葉みらい　響の杜学園
2 月	千葉県高齢者権利擁護・身体拘束廃止指導者研修運営協力 給食施設研修会　「栄養計画におけるアセスメントと評価」 生活リハビリ促進セミナー
3 月	介護者の為の口腔ケア地区研修

②防災訓練

6 月 24 日　夜間想定通報訓練

8 月 19 日　侵入者防犯対策　　香取警察生活安全課

9 月　2 日　大地震想定関係機関合同避難訓練　香取警察　小見川消防東庄分署　東庄町役場　竜神苑　　ネクスト東庄　地域ボランティア

9 月 15 日　避難通報消火訓練

12 月 26 日　避難通報消火訓練　消火設備取扱い指導

3 月　4 日　避難通報消火訓練

3 月の避難訓練はインフルエンザの為ネクスト東庄と合同で実施の予定であったが規模を縮小して行った。

③職員配置

施設長 1 名（介護支援専門員と兼務）　生活相談員 1 名　栄養士 1 名

調理員 2 名（常勤 2 名　非常勤 1 名）　用務員 2 名　介護職員 16 名（常勤 14 名　非常勤 2 名）

看護職員 3 名（常勤 1 名　非常勤 2 名）　機能訓練指導員 1 名（看護職員との兼務）

④その他

入居者処遇において、私たちは高齢者の尊厳ある暮らしの実現を目標にユニットケアの更なる定着のため、様々な取り組みを行ってきた。自施設の理念を掲げ入居者の暮らしのあり方、施設ケアの在り方を探る段階で、私たちのかかわり方によって高齢者の暮らしが大きく変化できる可能性があることを折々に体感した。ゴールを定め、職員と共有し目標実現のため懸命に努力した結果は、着実に地域に発信され職員や施設への高い評価として返信され、皆の喜びとして働き甲斐を肌で感じとることができる一年であった。評価に甘んじることなく高齢者のより良い暮らし「当たり前のことが当たり前にできる暮らし」を支援するためこれからも努力して行きたいと思う。

＜収益事業　賃貸＞

1．実施状況

リハビリデイサービス事業所ネクスト東庄への建物賃貸（旧小規模多機能ホーム）を継続、合同避難訓練の実施や各種イベントを通しての交流やサービスに関する情報交換の機会を設けた。ネクスト東庄のご利用者からの入居申し込みや施設見学希望もあり良好な関係性が構築されている。リハビリに関する知識や技術習得に向け施設間の研修を検討し入居者の活動に反映させていきたいと思う。また災害対策についても情報を共有し高齢者の生活の安寧をめざし有事の際に速やかな対応が出来るよう日頃から連携を重視した関係作りに努めたい。

〔広尾苑〕（市川市）

■　事業報告概要　■

＜特別養護老人ホーム＞

平成 28 年度後半は職員の退職が続き、厳しい状態での勤務体制であった。年間を通して求人活動を行ってきたものの問い合わせすらない状況が続いたが年明け以降職員も増えてきている。ご入居者様も 11 月頃までは満床を維持していたが、その後退所者が続き、新規入居者の手配が遅れ、空床があり、現在入居進めている状況である。

＜ショートステイ＞

平成 28 年度はリピーターのみではなく、新規・長期のご利用者様を獲得することができた。

＜特老・ショート共通＞

1. 実施状況

①年間行事

月	内容	月	内容
4 月	お花見	10 月	朗読会
5 月	映画鑑賞	11 月	映画鑑賞会
6 月	音楽鑑賞	12 月	映画鑑賞会（クリスマス）
7 月	七夕	1 月	初詣
8 月	夏祭り	2 月	節分　（豆まき）
9 月	敬老会	3 月	ひな祭り

2. 施設管理

①職員研修

・施設内研修

月	内容	月	内容
4 月	法人の理念と方針	10 月	職場における危機管理・緊急時の対応
5 月	介護施設で暮らすということ ～理想的な生活～	11 月	感染症について 2 （インフルエンザ・ノロウイルス）
6 月	感染症について 1　（0157・食中毒）	12 月	高齢者を理解するために
7 月	拘束と虐待	1 月	記録・報告
8 月	高齢者の食生活と口腔ケア・栄養管理と誤嚥	2 月	入居者に優しい生活環境作り ～安心と快適～
9 月	認知症ケアを考えよう ～人間らしさとは～	3 月	介護サービスのこれから

・施設外研修

月	内容
8 月	・ユニットリーダー研修
9 月	・「今更聞けない」フィジカルアセスメント　　～基本を振り返り実践に生かす～ ・社会福祉施設における食中毒・感染症対策
10 月	市川市地域連携褥瘡セミナー 高齢者施設における感染症対策

②消防訓練

5 月 27 日　　火災想定

10 月　9 日　　夜間想定

3 月　2 日　　自主訓練

③職員配置

施設長 1 名　副施設長 1 名　介護支援専門員兼相談員 1 名　看護職員 4 名（非常勤 1 名）

介護員 20 名（非常勤 1 名）　栄養士 1 名　調理員 5 名　用務員 2 名

〔広尾みらい保育園〕（市川市）

■　事業報告概要　■

平成 28 年度は、年度初めより定員以上の児童を受け入れる事ができ、大きな事故や怪我もなく、各年齢の発達を踏まえた保育を行う事ができた。また、それぞれが担当する年齢や行事にあった研修（施設内・外）に参加させ、保育士の質の向上を目指した。一時保育事業では、述べ利用人数が千人以上となり、子育て支援センター事業では利用人数が６千人以上となり、地域のニーズに応える事ができた。

1．実施状況

①通常保育　月～金　7：00～20：00　　土曜　7：00～18：00

基本保育時間　8：00～17：00

※延長保育時間を含む。

○一時保育　月～金　9：00～17：00

●一時的に保育が困難（通院・通学等）な方

●育児中のリフレッシュを必要とされる方

●認可保育園の入園基準（概ね月 64 時間以上）に満たない就労の方等の理由にて児童を受け入れ。

○子育て支援センター「結」月～金　9：30～12：30　13：30～16：00

●「子育て相談」に対するアドバイス。

●親子で自由に遊べる（過ごせる）場の提供。

●母親（父親）同士が自由に話し合える場の提供。

●毎月行事（試食会・親子クッキング・製作等）の企画をし、参加利用して頂く。

②年間行事　＊防災訓練は、毎月１回実施。

月	内容	月	内容
4 月	はじめましての会	10 月	秋のお楽しみ遠足（5 歳児） お散歩遠足（3・4 歳児） 運動会、ハロウィン
5 月	クラス懇談会、芋苗遠足（5 歳） お散歩遠足（3・4 歳）	11 月	内科健診 お散歩遠足（2 歳児）
6 月	内科健診、歯科検診	12 月	クリスマス会
7 月	プール開き、夕涼み会	1 月	もちつき会
8 月	お泊り保育（5 歳児） 広尾自治会まつり参加（4・5 歳児）	2 月	節分・豆まき会、クラス懇談会 卒園遠足（5 歳児）
9 月	敬老の日、プール納め	3 月	卒園式、お別れ会

2. 施設管理

①職員研修

月	内容
5 月	・「地域情報交換会」 ・平成 27 年度　第 1 回　子どもに関わる相談窓口連絡会 ・4, 5 歳児の発達と保育「なかまとの育ちあい、あそび・生活・おとなの関わり」 ・2 歳児の発達と保育・心もからだもまるごと育てるあそびの力
6 月	・0 歳児の発達と保育・なぜ起きる？保育園での乳児死亡事故・保護者との関係づくり ・1 歳児の発達と保育・1 歳児に拓かれる世界・1 歳児保育において大切にしたい事・1 歳児と豊かな保育をつくる（環境作りと保育者の役割り） ・2016 年　運動会実技講習会「すてきなダンスで運動会」 ・給食施設従事者研修会 ・地域交流年間計画の実施に向けて
7 月	・平成 28 年度地域子育て支援拠点施設担当者研修会 ・乳児突然死症候群について
9 月	・「保育園児の健康と病気」 ・子育て支援全国セミナー「子育て支援の仕事に誇りと希望を」
11 月	・子育てのギャップから見える親の心と保育 ・平成 28 年度子育て支援事業研修会 ・家庭や地域との連携による食育の推進 ・平成 28 年度職員自主研修（市川市）「自己肯定感を育む保育」 ・公開保育研修（みらい保育園） ・3, 4, 5 歳児の発達と生活・あそび ・みんなが楽しめる音あそび
12 月	・衛生管理の見直し・スチコンについて・行事食について
1 月	・スキムミルクを使用した調理 ・平成 28 年度第 3 回こどもに関わる相談窓口連絡会
2 月	・家庭や地域との連携による食育の推進

②職員構成

園長 1 名　　主任保育士 1 名　　保育士 16 名（パートを含む）

保育補助 2 名　看護師 1 名　子育て支援センター2 名（保育士 1 名、支援職員 1 名）

栄養士 2 名　　調理員 2 名　　事務員 1 名　　用務員 2 名

〔木更津みらい学舎〕（木更津市）

■　事業報告概要　■

一年を通じて、未就学児と小学生児童との交流ができた。又、請西苑の高齢者ともピアノコンサート、敬老会、ハロウィンを通じて交流ができた。今年度建設した木更津みらい会館も順調に進み、国、県、市の補助金も増額となり施設負担が軽減された。経営面も安定した経営ができた。

1．実施状況

①行事

月	内容	月	内容
4 月	新入生歓迎会・お花見・お誕生日会	10 月	ハロウィン・お誕生日会
5 月	子どもの日の祝い・お誕生日会	11 月	芋煮会・お誕生日会
6 月	おたのしみ会・お誕生日会	12 月	クリスマス会・お誕生日会
7 月	七夕・プール開き・お誕生日会	1 月	初詣・もちつき・お誕生日会
8 月	お泊り会・日帰り遠足・お誕生日会	2 月	豆まき・バレンタインデー・お誕生日会
9 月	『敬老の日』のお祝い・お誕生日会	3 月	ひな祭り・お誕生日会

2．施設管理

①法人内研修及び施設内研修・会議等

月	内容	月	内容
4 月	職員会議・新 1 年生の対応について	10 月	職員会議・災害時避難場所
5 月	職員会議・事故防止について	11 月	職員会議・認定こども園公開保育
6 月	職員会議・食中毒について	12 月	職員会議・インフルエンザについて
7 月	職員会議・熱中症について	1 月	職員会議・避難訓練
8 月	職員会議・幼老統合ケア	2 月	職員会議・学校休業日の対応について
9 月	職員会議・緊急時の対応について	3 月	職員会議・新年度に向けての事故防止について

②外部研修

月	内容
4 月	保育所保育指針研修会
12 月	放課後児童支援員認定資格研修

③職員配置

運営責任者　常勤１名

学童指導員　非常勤６名

〔請西苑〕（木更津市）

■　事業報告概要　■

＜特別養護老人ホーム＞

平成 28 年度は入居者様の入れ替わりと、入退院があり、年の稼働率は 96%となりました。
地域のボランティアの活用や学童施設との交流もさかんに行うことができましたが、
社内、社外の研修を通じての「介護の質の向上」が課題となっています。

＜グループホーム＞

平成 28 年度は、入退院が多く、年の稼働率は 93%となりました。今後はご利用者様の健康状態の維持に加え待機者獲得と関わり方が課題となります。入居中のご利用者様に関しては、隣接する学童保育との交流もさかんに行うことができたため、請西苑の特色を生かすことにつながりました。

＜デイサービスセンター＞

平成 28 年度は、施設入居や病状悪化のためご利用回数を減らしたり、中止になる利用者様が新規利用者様を上回り、登録者数の減少がみられています。認知症専門のデイサービスということもあり、認知症ケアのプログラムを使用したレクリエーションの取り入れなど実践をしました。新規利用者様の獲得の為、民生委員等、社会資源との連携を目標とし、地域住民への周知が今後の課題となります。

＜特別養護老人ホーム＞

1. 実施状況

1）入居利用者の介護計画作成
2）相談・援助業務
3）食事サービス
4）入浴サービス
5）排泄介助、整容その他日常生活の支援
6）機能訓練
7）健康管理
8）余暇支援、買い物介助その他
9）運営推進会議をおおむね 3 ヶ月に 1 回実施
10）利用者に対して計画的にアクティビティを実施

①年間行事

月	内容	月	内容
4 月	お花見	10 月	ハロウィン（学童）
5 月	ボランティア（歌）	11 月	職業体験（近隣小学校）
6 月	運営推進会議	12 月	クリスマス会、防災訓練 運営推進会議
7 月	七夕会、スイカ割	1 月	鏡開き

8 月	納涼祭 防災訓練	2 月	節分行事
9 月	敬老会（学童） 運営推進会議	3 月	ひな祭り、運営推進会議 防災訓練

2. 施設管理

①職員研修

月	内容	月	内容
4 月	介護の心構えについて	10 月	認知症について
5 月	感染症予防（食中毒）	11 月	感染予防（インフルエンザ）
6 月	高齢者の熱中症について	12 月	事故防止について
7 月	虐待防止・身体拘束について	1 月	排泄について
8 月	食事介助について	2 月	身体の清潔について
9 月	移乗・移動について	3 月	褥瘡予防について

②防災訓練

8 月 31 日　　夜間、地震を想定した避難訓練（警察署立会い）
12 月 15 日　　昼間、火災を想定した総合訓練（消防署立会い）
3 月 31 日　　昼間、土砂・水害を想定した避難訓練

③職員配置

施設長 1 名（兼務）　介護支援専門員 1 名　生活相談員 1 名　事務員 1.6 名（パート含む）
看護師 2 名　機能訓練指導員 1 名（兼務）　介護員 12.8 名（パート含む）
栄養士 1 名　調理員 4.3 名（パート含む）　用務員（非常勤）1 名

平成 28 年度は近隣小学校や地域ボランティアなどの地域交流がさかんに行われました。入居様が明るく、楽しみを持つ生活環境ができてきました。

＜グループホーム＞

1. 実施状況

1）認知症高齢者グループホーム介護計画の作成
2）相談・援助業務
3）食事サービス
4）入浴サービス
5）排泄介助、整容その他日常生活の世話
6）機能訓練
7）健康管理
8）余暇支援、通院介助、買い物介助その他

9）運営推進会議をおおむね３ヶ月に１回実施
10）利用者に対して計画的にアクティビティを実施
11）口腔ケアの実施

①年間行事

月	内容	月	内容
４月	お花見見学	10 月	芋ほり、運動会、ドライブ
５月	こいのぼり見学、ドライブ ボランティア（歌）	11 月	ドライブ　紅葉見学 さつま芋ほり 職業体験（近隣小学校）
６月	紫陽花・花の見学 運営推進会議	12 月	クリスマス会、防災訓練 運営推進会議
７月	七夕、スイカ割 学童交流（コンサート）	１月	鏡開き、正月参り
８月	ぶどう狩り、納涼祭・花火大会 防災訓練	２月	節分行事
９月	敬老会　運営推進会議	３月	ひな祭り行事、防災訓練 運営推進会議

2. 施設管理

①職員研修

月	内容	月	内容
４月	介護の心構えについて	10 月	認知症について
５月	感染症予防（食中毒）	11 月	感染予防（インフルエンザ）
６月	高齢者の熱中症について	12 月	事故防止について
７月	虐待防止・身体拘束について	１月	排泄について
８月	食事介助について	２月	身体の清潔について
９月	移乗・移動について	３月	褥瘡予防について

②防災訓練

８月 31 日　　夜間、地震を想定した避難訓練（警察署立会い）
12 月 15 日　　昼間、火災を想定した総合訓練（消防署立会い）
３月 31 日　　昼間、土砂・水害を想定した避難訓練

③職員配置

・管理者　１名（兼務）　・計画作成担当者　１名　・介護職員　常勤６名

隣接する学童保育との交流や、地域のボランティアによる催し物の開催などを行い、ご利用者様が、

楽しみや喜びをもっての生活ができたと思います。

＜請西苑デイサービスセンター＞

1．実施状況

1）居宅サービス計画（ケアプラン）を基本としたサービス提供

入浴サービス、健康チェック、給食サービス、レクリエーション活動、機能訓練指導

送迎サービス

2）訪問介護等、他の介護保険サービス事業者との連携

3）かかりつけ医等、医療事業者との連携

4）通所介護計画の作成

①年間行事

月	内容	月	内容
4 月	お花見見学	10 月	ハロウィン参加
5 月	こいのぼり見学 ボランティア（歌）	11 月	紅葉見学、菊祭り見学 職場体験（近隣小学校）
6 月	あじさい見学 運営推進会議	12 月	クリスマス会 防災訓練
7 月	七夕会　スイカ割	1 月	初詣
8 月	納涼祭参加 防災訓練	2 月	節分行事
9 月	敬老会、十五夜 お祭り見学	3 月	ひな祭り行事 運営推進会議

2．施設管理

①職員研修

月	内容	月	内容
4 月	介護の心構えについて	10 月	認知症について
5 月	感染症予防（食中毒）	11 月	感染予防（インフルエンザ）
6 月	高齢者の熱中症について	12 月	事故防止について
7 月	虐待防止・身体拘束について	1 月	排泄について
8 月	食事介助について	2 月	身体の清潔について
9 月	移乗・移動について	3 月	褥瘡予防について

②防火訓練

8 月 31 日　　夜間、地震を想定した避難訓練（警察署立会い）

12 月 15 日　　昼間、火災を想定した総合訓練（消防署立会い）

3 月 31 日　　昼間、土砂・水害を想定した避難訓練

③職員配置

・管理者　１名（兼務）　　・生活相談員１名
・介護職員　１名　・看護職員　１名（特養と兼務）

利用者様と一緒に折り紙や、ちぎり絵、工作等で、フロアーの飾りつけを行い季節ごとに雰囲気を変え喜んでいただき、次回利用を楽しみにしていただくことができたと思います。

〔千葉みらい響の杜学園〕（千葉市）

■　事業報告概要　■

開設して３年、ケアワークの職員の離職者がなく、研修や実践で職員一人ひとりの専門性が高まり、子どもの最善の利益を考えた支援ができるようになった。日本公文教育研究会で指導実践が評価され東日本代表に選ばれた。チームケアを大切に、職員が一人で悩まないように、報告・連絡・相談を徹底して行ってきた。

施設のコンセプトの一つである家庭調整がうまくいき、８名の児童が家庭に戻れるようになった。また、開所して初めての卒業生（高校）を出すことができた。

昨年同様、関係機関や地域との連携に重点を置いた。夏休みには学区の小学校、中学校との連絡協議会を開催した。また、地域の方と一緒になって餅つき大会や、凧揚げ大会を行った。

1．実施状況

(1) 入所児の受け入れ

・入所理由、家庭状況等の理解
・生活の仕方、決まりを教える
・施設での生活の意味について年齢に応じて理解させる
・子ども同士で集団にとけ込めるよう配慮する
・指導員、保育士との関係づけ

(2) 退所児の準備支援と家庭調査

・家庭、親の調整（面会、文通、諸機関を通じて）
・自分の将来について、子どもなりに理解させる
・家庭復帰、進路指導

(3) 子どもの発達に有効な生活環境を作る

・環境整備
・楽しい雰囲気
・指導員、保育士、子ども同士の和やかな人間関係

(4) 問題を持つ子の支援

・問題の捉え方、原因の理解
・具体的指導の計画、実施
・個別化と集団

(5) 対外諸機関及び社会資源の活用と相互協力

・児童相談所、福祉事務所、市、町、学校、地域、他諸機関との連絡や協力
・社会資源の活用
・ボランティア受け入れ、活用
・PTA、授業参観、子ども会等への参加
・子ども同士の交流（遊び、行事、招待等）

①年間行事

月	内容	月	内容
4 月	入学・進級、進学を祝う会 着任式、お誕生日会	10 月	秋の寮外出、ハロウイン 川戸地区スポーツ祭、お誕生日会
5 月	春の全体外出、お誕生日会	11 月	芋掘り、七五三、響魂祭（学園祭） お誕生日会
6 月	児童健康診断、お誕生日会	12 月	クリスマス会、大掃除、餅つき お誕生日会
7 月	七夕の会、お誕生日会	1 月	初詣、お誕生日会
8 月	千児協・響の杜球技大会、キャンプ 夏祭り、幕張花火大会、プール 小・中学校連絡会議、お誕生日会	2 月	節分、千児協マラソン大会、健康診断 お誕生日会
9 月	お月見、お誕生日会	3 月	ひな祭り、響の杜駅伝大会 巣立ちの会、お誕生日会

2. 施設管理

①職員研修・会議等

月	内容	月	内容
4 月	職員会議 理念・基本方針、事業計画について	10 月	職員会議、 発達障害について
5 月	職員会議 安全・安心対策について	11 月	職員会議、 グループワークトレーニング
6 月	職員会議 被措置児童虐待対応について	12 月	職員会議、 里親制度について
7 月	職員会議 自立支援プログラムについて	1 月	職員会議、 公文式学習の成果について
8 月	職員会議 他施設との交換研修	2 月	職員会議、 集団遊びについて
9 月	職員会議 児童相談所の業務について	3 月	職員会議、 今年度の総括

②防災計画

・毎月、避難訓練を行う。

・年 1 回、消防署員の指導のもと消火訓練を行う。

③職員配置

・施設長 1 名　・事務員 1 名　・主任児童指導員 1 名　・家庭支援専門相談員 1 名

・里親支援専門相談員 1 名　・個別対応職員 1 名　・心理療法士 1 名　・職業指導員 1 名

・調理員 4 名　・嘱託医 1 名　・特別指導員 1 名　・児童指導員・保育士 12 名